

県大会（1回戦）の結果

● 4月23日（木）

春季県大会1回戦

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
市立浦和	0	0	2	3	0	0	0	0	0	5
本庄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

23日（木）、県大会初戦が行われました。平日しかも熊谷でという状況にも関わらず、多大なる応援をいただき、勝利を手にすることが出来ました。特にバトン部の皆さん、降り続く雨の中、よく声が聞こえました。アウェイな感じを吹き飛ばしてくれました。本当にありがとうございました。（応援を通じて）母校・市立浦和高校の素晴らしさを改めて実感することが出来ました。

現チーム、個々の力やチーム力はありません。県レベルで戦うのは正直厳しいです。でもそんなチームが意外な活躍をする・・・それが高校野球の面白いところ、過去、市高には（そんな評価の中）全国ベスト4まで昇りつめた実績があるのですから・・・

次戦も頑張りたいと思います。

次戦の情報

次戦、埼玉県大会2回戦は、

4月26日（日）9時～

UD上尾スタジアム（1塁側）

対早大本庄高校

引き続き、応援等よろしくお願い致します。



我が家のネコのように、「自然体」で戦いたいと思います（笑）。

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日 R8. 4. 24

発行ナンバー 1263号

集うけど群れず

新入生が加わり、全部員の数が増えた時、私が部員達に必ず話すこと、それはこの言葉「集うけど群れず」になります。

この場合の「群れる」とはどんな状態を指すかご理解いただけるでしょうか？部員の多い学校あるあるになります。何の意志もなくただ先頭の人について動いているだけの集団が存在する、また、1人で出来ることを複数で行っている、そんな状態を指します（先日、市高野球部新入生も、試合終了後、1人がトンボへ移動し始めると、皆がそこへ群れて移動していました。そもそもトンボはそんなに余っていない、他にいくらでも仕事がある・・・）

野球の勝敗を分けるのは接戦の場合、「ほんの少しの差」です。瞬時に判断して行動に移せるか・・・これが大きいのです。日常生活が大事なものは明確です。普段、群れていることの多い選手ほどそういう能力が欠如する＝チームが負けに近づくというのが私の考えです。

長年部員を見ていますが、入部してから短期間で1番実力を伸ばすのは（市高の場合）、女子マネージャーだと思っています。何故だか分るでしょうか？（基本、同学年のマネージャーは少数なので）物理上、群れることが出来ないからです。

これも口癖のようになっていますが、私達（＝公立の進学校）は「目に見える力」＝速いボールを投げる、遠くに打球を飛ばす、などでは私立高校などに対して分が悪いのです。（デジタル化されない）「目に見えない力」をつけていかなければなりません。そういうことにつながる1つが「群れない」ことだと思って下さい。

チーム力を向上させましょう！